2021 年度京都府理学療法士会 定時総会議事録

日時 2022 年 6 月 26 日（日）14:00～15:30

場所 京都府理学療法士会事務所、Zoom ミーティングルーム

会場参加：麻田、苅谷、中本、関、堀江、江平、小寺、南角、田後、井口、村上、東、伊藤

Web 参加：理事・監事・一般会員

司会進行：苅谷康之事務局長

議長：村上貴士

書記：東佐登美

苅谷事務局長より開会宣言

* 日本理学療法士協会 斎藤会長より祝電の披露

* 京都府理学療法士会 麻田会長より挨拶

●2021 年度士会会長賞表彰について 今年度においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面では行わず、表彰状の送付をもって表彰とさせていただきます。

本年度対象 6 名（中本表彰委員長より氏名、所属の読み上げ）

青山惇一先生（デイケアかんなび）・秋本喜英先生（医仁会武田総合病院）・

今井陽一先生（京都市文化市民局）・茅原亮先生（上田リハビリテーション診療所）・

中井未佳先生（京都博愛会病院）・堀口遥先生（舞鶴赤十字病院）

●日本理学療法士協会 協会賞の披露及び伝達授与

麻田会長より 伊藤清弘先生へ表彰状授与

●議長、書記の選出

議長選出：村上貴士氏（京都博愛会病院）

書記選出：東佐登美氏（京都市岩倉地域包括支援センター）

●定足数確認（苅谷事務局長より）

総会員数 2,889 名（2022 年 6 月 26 日現在）

総会員の議決権の数 2,889 名（1/2：1,445 名、2/3：1,926 名）

出席会員数（Web 含め）38 名、委任状 1,967 名、合計 2,005 名

以上の通り総会成立の必要数を満たす

議長の成立宣言により議事に入る

【審議事項】

●第一号議案 2021 年度事業報告審議

会長総括

総会資料 P.1 に沿って、パワーポイントを提示し、総括報告

1. 2020 年度に引き続き、Web 環境下での事業遂行となった。
2. 研修会参加費は無料の割合を多くし Web 環境下での事業浸透と会員負担の軽減を図った。
3. 2 年目を迎える地域局では Web 環境を強みに小さな単位での意見交換などを進めることができた。
4. 退会要件などの変更により、退会者数が増加傾向にある。

他、会員動向（会員数・新入会員・休会・退会者数）、ホームページ閲覧者数の報告

京都府においては、他都道府県と比し、新入会員の割合がかなり多い。

全般的には、2021 年度も昨年度に引き続きコロナ禍での活動となったが、それでも感染対策を講じながらの有意義な活動内容ができた。元に戻る事業ではなく、新たな環境に適合した事業展開が行えたらよいのではと考えている。

各局より事業報告

*事務局：(苅谷事務局長より) 総務部、財務部、広報部 各部の報告

*社会局：(江平社会局長より) 保険部、職能部、公益事業部、災害対策部、

*地域局：(田後地域局長より) 引き続きブロック化事業を主とした活動内容の報告

*学術局：(堀江学術局長より) 生涯学習部、新人教育部、新人発表部、北部研修部、会誌編集部、学会部、その他（理学療法士講習会等）の報告

*委員会報告：(中本副会長より) 表彰審査委員会、選挙管理委員会、認知症対策委員会、地域包括ケア委員会、スポーツ委員会、エスカレーターマナーアップ推進委員会、50 周年記念事業委員会

*その他事業報告：(苅谷事務局長より) 京都府リハビリテーション就業フェア実行委員会
(麻田会長より) 京都府リハビリテーション三療法士会協議会

●第二号議案 2021 年度決算報告

南角財務担当理事より、資料 P.10 を参照にて報告、P.12 を参照にて特別会計報告

※ 一号議案、二号議案より質疑

Q：石井先生（佛教大学）より

⇒スポーツ委員会について、“コロナ禍で活動なし”と報告されていたが、昨年度の活動計画として挙げられていた『障害者スポーツ大会のかかわりを検討』に対して、検討はされたのか？昨年度末に次年度の計画はたてられているのか？委員会の開催もないが、今年度は昨年度分を貼り付けただけではないか？

A：麻田会長より

⇒理事会の方では、引き続き検討されている。その件が総会資料になかったのはこちらの落ち度であった。申し訳ない。コロナ禍でのかかわり方の検討は今後も引き続き検討している。

Q：山元先生（京都府リハビリテーション北部支援センター）より

⇒京都府補助金事業への協同参画としての北部合同研修は今まで以上にブロック化し、ネットワーク化をしていくことを見据えながら事業を進めていると聞かせてもらっているが、地域局での士会の事業と三療法士会のかかわりとして一体化することが効率がいいと思うが、そのあたりの詳細をもう少し聞かせていただきたい。

A：田後地域局長より

⇒一旦、支部の中でのつながりを作る。そのために、アンケート等に基づきメンバーの抽出をすすめる。ということが今年度の事業計画の中にもある。また、既存関連団体との連携構築が必要と考えるが、11支部それぞれ状況の違いがあるので、話し合いをしながらすすめていきたい。そこで、ブロック担当理事とメンバーで支部課題を出し合いながら話し合いをし、すすめていきたいので、ご協力をお願いしたい。

Q：金村先生（がくさい病院）

⇒臨床実習指導者講習会の案内が全く来なかったため、日本理学療法士協会に臨床実習指導者講習会に関する規定を問い合わせた。そこで、こちらは基本的には養成校が主催で、士会はその支援をするということ、また受講者の選定についても養成校がするという事を知った。そのような情報は知らずにいた。当院では、他府県からの実習生も受け入れているが、未だ受講できていない。来年の2月に講習会があることは聞いているが、その他の日程等、もし情報があれば教えていただきたい。

A：麻田会長

⇒ご心配の質問は色々聞いている。まずは京都府下にある養成校の実習を成立させるという前提として、養成校主催、士会は支援という、問い合わせの通りであった。当初は定員100名、年5回開催という予定であったが、Web開催に変更となり、1開催48名の定員になった。2021年度は5回開催、2022年度は10回開催を予定。しかし、それでも賄いきれないかもしれない。また、この臨床実習指導者講習会に係る費用を会員の年会費から全面的に賄うということもできないため、支援、事務作業という形にならざるを得ない。しかし、新しい理学療法士を育てる上では、全面的にバックアップしなければならない。

京都府士会としては、単独開催として今年度2月に開催予定であるが、可能な限り公平に48名の枠を効果的に使いたい。案内は7月にホームページに掲示予定である。この件について今後も遠慮なく、ご意見等いただきたい。

【第一号、第二号議案について、挙手にて賛成多数 承認】

●第三号議案 定款変更

麻田会長より、定款変更内容説明

【第三号議案について、挙手にて賛成多数 承認】

●第四号議案 選挙管理委員の選出

選挙管理委員長 中川朋子先生（洛和会音羽病院）より役員選挙説明

【第四号議案について、挙手にて賛成多数 承認】

【報告事項】

●第一号報告 監査報告

伊藤監事より監査報告（P. 13 参照）

●第二号報告 事業計画報告

麻田会長より事業総括および各局の計画報告

パワーポイント提示にて報告

1. 対面・Web・ハイブリッド、それぞれの特徴を生かした事業運営
 2. 新生涯学習システムに準じた研修会事業（登録前期・後期・更新研修、認定・専門更新研修）
 3. 情報伝達・共有の電子化促進（NOW,メルマガ,LINE,Facebook,サイボウズの効果的な利用を進める。
 4. 地域局機能の理解を深め、他局事業の支援や施設間連携を図っていく。
 5. 行政・他団体事業との協力体制強化（京都府リハビリテーション三療法士会協議会、京都府理学療法士連盟、行政主催の会議・委員会への派遣等）
5. について、現在府士会が参加している行政他団体は合計 18 を掲載しているが、その中でも細かくブロック分け等されており、それぞれの会議への出席が年間数十回求められる。よって理事の拡充をこの度提案させていただいた。そうして、他団体との連携を深め、理学療法士会の存在をアピールすることが、京都府における理学療法士の社会的地位を高める一つの方策と考えている。そのため、適切な派遣人材の攻略を理事だけで決定するのではなく、広く会員の皆様のご意見も聞きたい。

興味のある分野があれば、一緒に士会活動をしてみませんか。多くの会員の声と参加を心待ちにしていますという言葉で締めくくられた。

●第三号報告 2022 年度予算案

南角財務理事より P. 10 予算案の説明

●第四号報告 その他

麻田会長より報告

第二号議案 第三号議案、第四号議案は報告事項

決議はなしとする

⇒質疑応答なし

●士会に対する意見・要望

山元（京都府リハビリテーション北部支援センター）より

⇒先ほどの質疑応答の件で、北部合同研修の方で、OT、ST 士会は理事がメンバーに入っているが、PT は入っていない。よって、今後は情報を北部の理事に伝達するようお願いしたい。

●議長団解散

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15 時 30 分閉会した。

関副会長より 閉会の挨拶